

# 「JATAの道」プロジェクトが始動 復興支援活動を継続し「新しい東北観光」実現

環境省が東北地方太平洋沿岸に設定する「みちのく潮風トレイル」で、「JATAの道」プロジェクトが始動しました。今年度から2020年度までの7年間にわたり、1000人が参加して復興支援活動を続けながら、「新しい東北観光」の実現を目指します。

## トレイルを通じて東北の魅力为全国へ

JATAは10月24日と25日の2日間にわたり青森県八戸市と階上町で、環境省の設定する東北地方太平洋沿岸地域のトレイルコース「みちのく潮風トレイル」を活用し



吉川副会長も階上岳の山道に「みちのく潮風トレイル」の道標を設置しました

た「JATAの道」プロジェクトの1回目となる取り組みを実施しました。

同プロジェクトは、2012年12月にJATA会員会社の社員ら1000人規模を東北各地に送った「行こうよ！東北」に続き、JATAによる東北復興支援



階上町の久保副町長



環境省国立公園課の岡本課長

活動のセカンドステージと位置づけられるものです。「新しい東北観光」の実現に向けて、東北地方の太平洋沿岸エリアにおける自然環境の整備活動を通じ、「自然景観の復興」や「生活文化の再生と向上」に寄与することを目指していきます。第1回となったプロジェクトの取り組みには、首都圏と東北地区のJATA会員旅行会社の役員と社員、JATA事務局、日本エコツーリズム協会、プレス関係者ら66人が参加しました。

団長として参加者らを率いた国内旅行推進委員会の委員長も務める吉川勝久JATA副会長は、初日の24日に階上町の大開平で行われた開会式で、「2日間にわたる「みちのく潮風トレイル」での作業や踏査、体験を通じて、旅行業界のプロとして新たな観光資源の発掘にも努めたい」と挨拶。「階上町と八戸市の関係者や環境省の皆さんの協力により、「JATAの道」プロジェ

クトの第二步を踏み出すことができました」と謝意を表明しています。

## 7年間で1000人が参加するプロジェクト

階上町の久保和子副町長は、「JATAの道」プロジェクトが同町からスタートしたことに感謝の言葉を述べるとともに、「東日本大震災による被害からの復興を目指して、行政のみならず、民間や地域が努力を続けてきている中で、三陸復興国立公園に編入された階上町のエリアも「みちのく潮風トレイル」の一部となり、旅行業界の皆さんには、観光素材としての可能性についてご教示いただきたい」と語り、JATAへの期待を示しました。

東京からプロジェクトの取り組みに参加した環境省自然環境局国立公園課の岡本光之課長は、「自然を守る」と同時に、多くの方々に自然を知っていただくのも国立公園の大きな目的の一つであることを強調。「JATA会員の旅行会社には、「みちのく潮風トレイル」を通じて、東北の自然の素晴らしさを全国に伝えてほしい」と呼びかけています。

今回のプロジェクトによる取り組みでは、参加者らが階上岳山頂、階上岳鳥谷部登山口、大開平、寺下観音の各エリアで8班に分かれて、環

## 吉川JATA副会長が環境省・高橋政務官と懇談



JATAの吉川勝久副会長は10月22日、「JATAの道」プロジェクトの実施に先立ち、東京霞が関の環境省を訪れて高橋ひなこ政務官と懇談しました。

岩手県出身の高橋政務官は、「震災10年後までに及ぶサポートは非常にありがたく、心から敬意を表したい」と語り、同プロジェクトを評価。「旅行会社の商品やサービスをを通じて三陸復興国立公園の取り組みを発信してもらおうと同時に、旅行業界の復興を支援したいという思いが旅行者に伝わることで、地域の活性化を後押しすることに感謝したい」と述べました。

吉川副会長は、環境省や地元自治体の協力による同プロジェクトの実現に謝意を表明し、「観光資源を見出し磨き上げる目利きの力を発揮して着地と発地のニーズを融合させながら、エコツーリズムにしっかりと取り組んで復興を支援したい」と決意を示しました。